

### 建学の精神 EST. 1935 (昭和10年) 創立81年

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

#### 普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

#### 看護科

- 看護科
- 看護専攻科

#### 商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

#### 看護科・看護専攻科

#### 教育講演会

10月8日(土)、第1回看護教育講演会がありました。講師には毎年お迎えしています、京都回生病院看護部長の門真由美先生より、「地域医療における看護師の役割 ～看護師に求められる資質とは～」と題して講演をして頂きました。

講演中の  
門真由美  
先生



#### 保育コース

10月8日(土)、救急救命講習会がありました。北九州市八幡西消防局折尾分署より6名の職員方をお迎えし、ビデオによる救命処置の仕方を見たあと、実際に全員が救命処置を体験しました。講習会終了後には修了書が渡され勇気をもって救命処置を行ってほしいと言われていました。



#### 製菓衛生師コース

9月30日(金)と10月7日(金)の2日間、「おりをろまん」に続く第2弾のスイーツを開発し、このほど「試食会」が行われました。学園大通り西側歩道特設テントにて先着250名に配られたスイーツは、2種類でアンケート結果をもとにさらに改良を重ね商品化をめざします。「We Love 折尾スイーツプロジェクト実行委員会」主催の企画に本校の製菓衛生師コースの生徒たちが作った作品が商品化されるのもまぢかです。



試食を勧めていました。



#### 生徒会役員改選

9月29日(木)、平成28年度生徒会執行部役員改選があり、9名の新役員が選出されました。新生徒会長に選ばれた下平愛実華さん(普通科普通コース2年)は、先輩が築いてきたものを引き継ぎさらに良い生徒会になるよう役員みんなで盛り上げて行きたいと抱負を語っていました。10月より新執行部で生徒会を運営していきます。

会長	2年2組	下平 愛実華さん	則松中学出身
副会長	2年1組	首藤 彩乃さん	中間南中学出身
	1年5組	千竈 結衣さん	遠賀中学出身
書記	2年7組	清松 紗和さん	日の里中学出身
	1年6組	熊本 利玖さん	佐須中学出身
会計	2年5組	水田 朱音さん	河東中学出身
	1年5組	西村 杏菜さん	穴生中学出身
企画	2年4組	永田 杏奈さん	沖田中学出身
	1年5組	今村 有里さん	若松中学出身

## 学校見学会 第3回学校見学会

10月15日(土)、第3回学校見学会がありました。多数の中学生や保護者の参加のもと、生徒会による司会で進められ、学校紹介や趣向を凝らした部活動紹介などがあり会場からは拍手が沸いていました。また、各科コースの授業体験では普段行われている実習や実技を体験し将来の進路選択に役立てていました。



### 特進コースの数学の授業

募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

#### 推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月18日(水)  受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

#### 一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月27日(金)  受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成29年 1月24日(火)	国語・数学・面接  特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成29年 1月26日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成29年 1月31日(火)	国語・数学・社会・理科・英語	平成29年 2月6日(月)

## 学校見学会(予定)

- ・ 学校紹介
- ・ 校内見学
- ・ 進学相談
- ・ 授業体験
- ・ クラブ紹介
- ・ 入試対策 等

第2回 終了しました。(土)

第3回 終了しました。(土)

第4回 11月12日(土)

## 「草創期の黒田藩と栗山大膳 黒田長政の入国⑥

元和元年、三年の歳月をかけて完成させた築堤工事を長政は巡視しています。底井野村の御茶屋に宿泊して、下大隈村の離駒の築堤工事を視察したと記録にあります。見事に完成した工事の状況を見て、これで洪水から護れると安心したに違いありません。ところが元和三年(1617)に引き続いて、元和六年(1620)と二度にわたって、西日本一帯を襲った集中豪雨によって大水害が発生、折角築堤工事を終えた遠賀川の土手も決壊、流域一帯の田畑、人家が浸水、牛馬も含めて多数の犠牲者を出すと云う、悲惨な大災害が発生しています。当然、五穀の収穫はなく、多くの農民は餓死すると云う悲惨な状態だったと伝えられています。こうした状態を深刻に受け止めた長政は、被害のあった元和六年(1620)、若き家老栗山大善を従え、被害状況の視察を行なっています。大膳、時に二十九才でした。二人は、この時、底井野村の御茶屋に宿泊して、木屋瀬から中間、鞍手、岩瀬、遠賀、吉田、折尾、本城、陣原の各村を廻り、つぶさに被害状況を視察しています。視察の結果、遠賀川の氾濫を防止する策として、中間村から洞海湾に通じる疎水を開削し、洪水の時は、遠賀川の流水を一部この堀川に放流して被害を緩和させ、さらに流域各村の灌漑用水にあて、あわせて、生活物資の輸送に活用する計画をたてたのです。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より